

熊本県中学校総合体育大会 弓道競技 申し合わせおよび確認事項

令和6年(2024年)5月22日(水)
弓道競技 専門委員会

① 5 競技方法(2)個人戦○決勝について

個人戦の決勝における優勝決定戦は射詰めによる。全中により8射までに決定しない場合は小的(直径24cm)に変更して競技することもある。となっているが、残っている選手が全員の申しなかったときは、その時点で遠近法に切り替えて優勝を含む順位決定を行う。

② 7 その他(2)補員との交代について

団体戦における補員は2名まで登録できる。

監督会議時の交代とは、「先発(予選1立目)選手の交代」という意味で、補員登録の選手が1, 2, 3番のいずれかに入ることとなる。これは交代の1回には数えない。

このとき、予選2立目以降に、選手申込書における○番の選手が、選手交代で○番以外の立ち順に入っても構わないこととなる。

③ 4 参加制限について

同一の選手が、団体戦・個人戦ともにエントリーすることは可能である。このとき、競技における結果については、5 競技方法(2)個人戦 のとおりとなる。

ただ、本大会は県弓道連盟や県中学生弓道協会が主催している大会(4月全国予選、6月九州予選、11月県新人大会等)とは違い、団体戦と個人戦は別エントリーです。

団体戦の予選で高い的中数であっても、個人戦のエントリーがなければ、個人戦入賞の資格はありません。

④ 選手の服装について

弓道衣とする。しかし、全日本弓道連盟「基本計画部会での検討内容の趣旨について(R5. 7. 24)」での『中高生の審査会の服装について 弓道衣(筒袖、袴、足袋)だけでなく、運動着等でも差し支えない。【趣旨】中高生(中学1年生～高校1年生頃の生徒)の審査会での服装は、成長期の中高生が成長を見越した長い袴や成長して短くなった袴を着用するよりは、むしろ運動着等で受審することも認めるのが合理的との理由からの措置です。従いまして、多少サイズが合わなくても弓道衣を着たいと本人が要望している場合は、それを尊重してください。』の内容を参考とし、審査会と競技大会の違いはあるが、新たな経費を発生させないため、運動着等でも差し支えないとする。

⑤ 大会全般について

大会参加のマナーについて、生徒(選手、応援含む)、保護者等すべて、マナーの向上を今一度お願いします。